



高知のよりよい明日を目指すキャンペーン

優しい社会へ

◎企画制作／高知新聞社広告局・高知広告センター ◎制作協力／高知県地域福祉部高齢者福祉課

県内19市町村に広がる「認知症カフェ」

認知症の人や家族をはじめ、地域住民など誰もが参加でき、気軽に交流したり、情報を分かち合える認知症カフェ。県内第1号のオープンから5年目を迎える中、各地では個性的なカフェが次々に誕生し、今や19市町村で開催されるまでに。それぞれ地域と協力しながら、心の込もった運営を続けています。

地域のサポートを受けながら
認知症の人と家族の居場所づくり

5年目に入った第1号カフェ

◎「えいとカフェ」(高知市中須賀町)

「えいとカフェ」は、まだ認知症カフェという言葉が定着していなかった平成25年、高知市中須賀町で生まれた県内初の認知症カフェ。

昔ながらの家々が残る旭地区では町内会の組織が強固なこともあり、カフェの立ち上げに際してもすぐに理解と協力が得られ、会場の貸与や食器や椅子の寄付などについても心強いサポートがあったそうです。介護の専門職や行政の職員たちが、ボランティアとして運営に参加。継続する苦労は多いようですが、開設以来、認知症の人が外に出て交流できる場であることを目指し、スタッフが自宅に迎えに行くなど、来てもらうための地道な行動や工夫を重ねてきました。今では



地域全体に認知症カフェのある意味が理解され、絆もより深まっている様子。本人や家族にとっての居場所づくりという基本を大切にしている第1号カフェです。



毎月第2水曜日に、10人前後が集う「えいとカフェ」



地域の方にはいつも支えてもらっています

今後変化する地域環境にも対応していきます



◎えいとカフェ 運営スタッフの皆さん

同センター 旭出張所 三橋 真実さん

同センター 旭出張所 加嶋 由香さん

高知市西部地域高齢者支援センター 旭分室 竹村 康代さん

日頃から声を掛け合う付き合いが大事なんです

「認知症になっても大丈夫よ」と言えるカフェへ

◎えいとカフェ運営スタッフ 神明 泰子さん(居宅介護支援事業所「長瀬」ケアマネジャー)

認知症カフェは県内全域に広がり、予防を目的に元気な人が集うカフェが増えているようです。もちろんそれも意義のあることですが、認知症は誰にでも発症の可能性があるものから「認知症になりたくない」という意識だけではなく「認知症になってもいい」という考え方も広がってほしい。多くの支援者の下で苦悩しながらも生活する認知症の人と家族の居場所とし



「認知症になっても大丈夫よ」と言えるカフェ、地域であってほしいと思います。また、気軽に参加できる仕組みは大切ですが、認知症カフェは、参加者が“お客さん”ではなく、共に活動し、支え合い、つながる場であるべきだと思うんです。発祥の地・オランダのように、専門職が常駐し、常に認知症に関する専門的な相談が受けられるようになるのが理想ですね。今後は、若年性認知症の人のためのカフェも必要だと感じています。



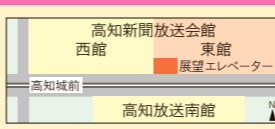
さらなる増員を目指して!!

平成29年6月30日現在で 46,829人 (県内のサポーター数)



地域で温かく見守るサポーターになろう 認知症サポーター養成講座

■日時／平成29年10月25日(水) 午前10時～11時30分
■場所／高知新聞放送会館 東館8階 階段会議室(高知市本町3-2-15)
※ 電車通り側の東側玄関より展望エレベーターをご利用ください。



■お問い合わせ・申込先 高知県高齢者福祉課 TEL 088-823-9627
※ 9月25日(月)より受け付け開始。定員に達し次第締め切りますのでお早めにお申し込みください。



定員80人 受講無料

オレンジリングは、認知症サポーターの目印です!!

本紙をきっかけに生まれた ゲストハウス&カフェ

◎「さくらカフェ」(高知市長浜)



中に読んだ「優しい社会へ」で認知症カフェを知り、まずは昨年11月にカフェをオープンしました。



小桜さん(左端)とお義母さん(右隣)、サボートする皆さん

四 国霊場雪隠寺の近くにある女性専用ゲストハウス「お遍路ハウス33」。築33年の空き家をリノベーションしたその宿で、第2水曜日を開いているのが「さくらカフェ」です。

宿をオープンさせた小桜典子さんによると、認知症カフェを開くことになったのは、この「優しい社会へ」がきっかけだったとか。1人暮らしたお義母さんが認知症になり介護施設へ入所したことで、誰も住まなくなった家を活用できないかと考えていた矢先、高知新聞の「空き家を遍路宿に活用」という記事を読み決意。さらに、その計画

が分かって、体も動かすし元気になる」と好評で、今では参加者が新しい人を誘ってくるなど広がりを見せ、住民同士の触れ合いに欠かせない場になっていきます。

山間部の弱点を強みに変えた「出前カフェ」

◎「げらげらカフェ」(梶原町)

「出前」と称し、梶原町の6地区を回って開催している「げらげらカフェ」。運営しているのは、認知症の介護者同士が悩みを持ち寄り活動する「げらげら家族会」です。「梶原町は山間部で地区が分散しているため、関心があっても町の中心部で開く会には参加できにくい状態でした」と話すのは、世話人の掛橋培子さん。どうしようか考えているときに思い付いたのが、こちらから出向く「出前」スタイルのカフェだったといいます。



の人が参加できる方法について町内の地区長とも相談した結果「従来行っている健康サロン『いきいき』の時間にすれば良いのでは」という妙案が出たとのこと。これまでに合計4地区で実施済みです。



カフェでは、家族会の活動や介護の体験談を話すので、集まった高齢者の中には共感する人が多く「広く出向いたことで私たちの活動を知ってもらえ、認知症の理解が深まったと思います」と手応えを感じている掛橋さん。介護の悩みを話し、共感し合える仲間が増えることを、この出前カフェで期待しているそうです。



「介護中でも『共に語り合っただけで笑い合う』が会の合言葉です」と笑う掛橋さん

「お笑いの時間」と題したレクリエーション。「大笑いしてすっきりした」と楽しそう

好評のモーニングを囲んで 地域の元気な高齢者も集う場に

◎「さくらカフェ」(吾川郡いの町小川)



かとお話して話せる場所が提供できればと思っています」と話します。

地区内には喫茶店がないため、カフェの雰囲気慣れない参加者も多かったそうですが、今では「家でいるよりずっと楽しいし、明るくなる」「来月はどんなメニュー?」という声も聞かれるほど、皆さん楽しみにしている様子。中には認知症の家族の相談に訪れる参加者もいたり、「安心できる場所」として定着してきています。



仁 淀川の支流にある、いの町小川の新別地区。この静かな山あい、毎月第2火曜日にモーニングをメインに開催しているのが「さくらカフェ」です。運営しているのは小規模多機能型居宅介護事業所「新別の里」。昨年11月、施設利用者の家族が介護の合間にはつとでできる場所にしようとスタートしましたが、次第に地域の元気な高齢者も集うように。

管理者の赤堀厚子さんは「地域の皆さんは、施設の送迎車に便乗して来てくれます。1人暮らしの高齢者が多いので、誰



どなたでも来てくださーい!

施設職員の方がカフェのスタッフ

高知県内の認知症カフェ

(平成29年8月1日現在、高知県高齢者福祉課調べ)

- 東洋町** ●わいわいサロン
- 室戸市** ●ほんかんカフェ
- 奈半利町** ●ほつとカフェ
- 田野町** ●ほくむカフェ
- 安芸市** ●オレンジカフェ
- 香南市** ●認知症カフェ
- 香美市** ●にこまるカフェ
- 大豊町** ●町内22地区で開催
- 南国市** ●認知症カフェ
- 高知市** ●えいとカフェ
- 須崎市** ●お茶会
- 日高村** ●コスモスの里の喫茶店
- 中土佐町** ●ほちほちカフェ
- 四万十市** ●ふれあいカフェ
- 黒潮町** ●なないろカフェ
- 梶原町** ●げらげらカフェ
- 宿毛市** ●オレンジカフェ
- いの町** ●さくらカフェ
- 大月町** ●ほつとカフェ

県内19市町村に広がる「認知症カフェ」



地域で認知症カフェを始めてみませんか?
認知症カフェは、認知症への不安を抱える人や、認知症の人や家族が気軽に立ち寄れる場所として、より身近な地域での開催が求められています。ボランティアを中心に運営の目安としては月1回、2時間程度。ボランティアや講師や相談に对应できる専門職の参加が求められます。詳しくは、お住まいの市町村の地域包括支援センターなどにお問い合わせください。

高知県高齢者福祉課からのお知らせ!!

認知症疾患医療センターについて

では認知症医療の充実のため、認知症疾患医療センターを設置しています。地域型のセンターでは、保健福祉士等の専門の職員が認知症に関する専門医療相談にに応じています。また、より高度な鑑別診断などに対応する基幹型のセンターを高知大学医学部付属病院に設置しています。

地域型認知症疾患医療センター	専門医療相談	
	時間(月～金)	電話番号
高知鏡川病院(高知市)	9時～12時 13時30分～16時	088-833-5012
高知県立あき総合病院	9時～12時 13時～16時	0887-35-1536
一陽病院(須崎市)	9時～12時 13時～16時	0889-42-1803
渡川病院(四万十市)	9時～16時	0880-37-4649

困り事や悩み事は、一人で抱えず相談を!

●**認知症コールセンター**
認知症の方の介護や家族の悩みなど、認知症に関するさまざまな相談に介護経験者、認知症の人と家族の会世話人がお答えします。
TEL&FAX 088-8211-2818
月曜から金曜 祝日 年末年始を除く 午前10時から午後4時
TEL 0880-076100(番)
TEL 0880-076100(番)
月曜から金曜 祝日 年末年始を除く 午前9時から午後4時

「優しい社会へ紙面への意見、ご感想は...」
〒780-8922 高知本町私権福70号「優しい社会へ」係です。
FAX ホームページでも受け付けています。

